

令和 3 年大会アピール

本日、令和3年「北方領土の日」を迎え、我が国固有の領土である択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島、すなわち北方四島の返還実現を目指し、「令和3年北方領土返還要求全国大会」をコロナ禍の中で開催致しました。今大会の様子は、新たな試みとしてインターネットで配信し、国内外に幅広く訴えることができました。

北方四島が、法的根拠のないままに75年間占拠され続けていることは誠に遺憾であります。北方領土を故郷とする元島民の多くの方々が故郷に戻るとの願いが叶わぬまま亡くなられました。解決がこれ以上長引くことを断じて許すわけにはいきません。

こうした厳しい現状の中で開催した大会では、元島民の声「ふるさとに戻りたい」そしてこの声を「伝えよう」と各界各層の方々の声を届けました。

私たちは、「北方領土の日」制定の基本である北方領土問題を解決し、日露両国間の平和条約の締結によって、両国間に真の平和と友好が構築されるために、日露交渉の加速を求めます。

大会では、領土問題の解決に向け、政府と国民が一体となり、これまで以上に国内外に向け広範な役割を果たし、北方領土の返還要求運動に取り組む意思の統一が確認されました。

私たちは、北方四島の返還実現を目指し、次のとおり決意を表明します。

記

- 一. 私たちは、北方四島の返還実現を目指し、情報化時代に合わせあらゆる方法で北方領土問題を発信して参ります。
- 一. 私たちは、地域・職場・学校・家庭など、全国の仲間と手を携え、返還実現を目指し、広範な国民運動に取り組めます。
- 一. 私たちは、署名活動をより一層推進します。
- 一. 私たちは、あらゆる機会を活かし、北方四島の返還こそが我が国とロシアとの真の友好と信頼関係を築き、ひいては世界の平和に寄与するものであることを訴えます。
- 一. 私たちは、北方領土に残存する日本の建物保存に取り組めます。

令和3年2月7日北方領土の日
令和3年北方領土返還要求全国大会